

東京サーキュラーエコノミー推進センター

2022年4月、東京都環境公社は東京サーキュラーエコノミー推進センターを開設しました。本センターでは、持続可能な資源利用についての情報発信や具体的な取組の支援を通じてサーキュラーエコノミーの実現に貢献しています。

東京サーキュラーエコノミー推進センターHP

サーキュラーエコノミーを身近に感じてもらえる取組を、Webサイトを通じてわかりやすく発信しています。

<https://www.tokyokankyo.jp/circular-economy/>

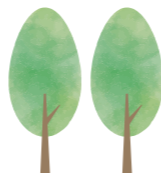


サーキュラーエコノミーとは

サーキュラーエコノミー(循環経済)



サーキュラーエコノミーは、「循環経済」と呼ばれ、従来の3Rに加え、資源投入量や消費量を抑えつつ、ストックを有効活用しながらサービス化等を通じて、付加価値を生み出す経済活動です。製品を生み出す段階から、製品の長寿命化やリサイクルしやすい素材の活用を考慮して設計を行うこと、原材料の使用を最小限に抑えること、既にある製品等を最大限に活用し資源を無駄にしないことで廃棄ゼロを目指しています。



お問い合わせ

東京サーキュラーエコノミー推進センター

住所:東京都墨田区江東橋4-26-5東京トラフィック錦糸町ビル8階

TEL:03-6666-9198



サーキュラーエコノミーの 実現に向けて

令和4年度サーキュラーエコノミーの推進に係る
情報発信・相談マッチング事業実施報告書(概要版)



東京都は、『未来の東京』戦略version up 2022において、「2050年CO2排出実質ゼロ」を実現するため、サーキュラーエコノミーへの転換・資源循環を促進することとしています。

そこで、東京都と公益財団法人東京都環境公社は、東京サーキュラーエコノミー推進センター(以下T-CEC)を活用し、都民、事業者、関係団体、自治体と連携を図りながら、サーキュラーエコノミーの実現に向けた事業(「令和4年度サーキュラーエコノミーの推進に係る情報発信・相談マッチング事業」)を実施しました。

T-CECでは、サーキュラーエコノミーの実現に貢献することを目的に、都民、事業者、関連団体、自治体と連携しながら、持続可能な資源利用に関する情報発信やシンポジウムの開催、サーキュラーエコノミーの早期導入にあたる具体的な取組への支援、多様な主体による実践的な行動変容活動への支援等を行っています。

本冊子は「令和4年度サーキュラーエコノミーの推進に係る情報発信・相談マッチング事業」の実施報告書(概要版)として作成したものです。



情報発信・交流ポータル

- ▶ 都民・事業者・関係団体・自治体が一体となってサーキュラーエコノミーへの移行を実現するための活動を推進する特設Webサイト「サーキュラーエコノミーアクション」を開設

TOKYOサーキュラーエコノミーアクション
<https://www.circulareconomy.metro.tokyo.lg.jp/>



- ▶ サイトでは、都民・事業者・関係団体・自治体を対象に、サーキュラーエコノミーに係る事業を導入するための具体的な支援や著名人によるシンポジウムの実施など、さまざまな情報を発信

●情報発信例

- ▶ 都内区市町村における食品ロス対策やリサイクルへの取組を紹介
- ▶ サーキュラーエコノミーに取り組む事業者の自治体連携等の事例紹介
- ▶ Twitterによるサーキュラーエコノミーに関する内容を発信

Twitter
@CE_Tokyo




「区市町村の取り組み」ページ

町田市の取り組み

食べきり残し対策について
フードドライブについて
リサイクルセンター等での取り組みについて
リユース資材・容器に関する取り組みについて

相談・マッチング事業

- ▶ 都内の事業者・自治体等を対象に、東京サーキュラーエコノミー推進センターがサーキュラーエコノミーの導入を支援。
- ▶ 使い捨てプラスチック・食品ロス等の削減に向けたアドバイスから、東京都環境局が実施する補助制度などのご紹介、他事業者とのマッチングにいたるまでワンストップでサポート。

●情報発信例

- ▶ 大型商業施設へのリユース容器導入支援
- ▶ 2R(リデュース・リユース)の新事業を検討する企業に対する技術的な助言
- ▶ プラスチックのケミカルリサイクル先の相談(自治体) 他

●令和4年度相談件数の実績

※令和5年2月28日時点

業種	個人	企業	行政	団体・他	合計
件数	4	24	2	3	33

サーキュラーエコノミーの実現に向けたモデル事業

- ▶ 地域密着型サーキュラーエコノミーの実現に向けて、資源循環に係る事業実績や知見のある都内の企業や業界団体等と連携して、資源循環に係る試験的な事業や仕組みづくり、制度の構築等に資するモデル事業を実施。
- ▶ 事業実施方法:事業を公募し、選定事業実施者と協定締結。
- ▶ T-CEC負担額:対象経費の1/2、1事業100万円上限

令和4年度東京サーキュラーエコノミーシンポジウム

- ▶ 事業者と自治体の連携促進をテーマとし、有識者の特別講演、事業者と自治体の連携によるサーキュラーエコノミーの取組事例を発表(令和4年度はエコプロオンラインで開催)

開催概要とプログラム

主催:
東京都環境局
公益財団法人東京都環境公社

開催期間:
令和4年11月25日10時から
12月16日17時まで

対象:
サーキュラーエコノミーに関心のある方

参加費:無料

講演タイトル	登壇者	講演要旨
ネットゼロ社会実現のための水平リサイクル (特別講演)	NPO法人ごみじゃぱん 石川 雅紀 様	プラスチックのリサイクルとネットゼロ社会の関係、製品のリサイクルにおける炭素歩留まりの重要性を講演。
『パートナーシップで循環経済を実現しよう』 ～官民連携で取り組むヒント～ (特別講演)	環境カウンセラー 関根 久仁子 様	循環経済の実現において、官民連携のメリットや取組を推進する上でのヒント、推進プロセスなどを紹介。
自治体とのペットボトルの資源循環の取組 (事例発表)	一般社団法人全国清涼飲料連合会 加治木 浩則 様	自治体と連携して、ペットボトルの資源循環の実証活動や教育啓発をすることで行動変容を促す取組を紹介。
たのしくハブラシリサイクル! について (事例発表)	ライオン株式会社 中川 敦仁 様	プラスチック資源循環社会への対応として、使用済みハブラシの回収・再生プログラムを紹介。
みんなでボトルリサイクルプロジェクト (事例発表)	ユニリーバ・ジャパン・サービス株式会社 山本 さや香 様	日用品プラスチック容器包装の資源循環を目指す、「みんなでボトルリサイクルプロジェクト」を紹介。
官民参加による環境啓発事業の取組について (事例発表)	調布市 環境部 平原 孝允 様	ユニリーバ・ジャパン株式会社の協力により実施した「ポタカルライトキャラバン」等の取組を紹介。

令和4年度 サーキュラーエコノミーの実現に向けたモデル事業 採択5事業

<p>オフィスビル向け弁当、ドリンク販売でのリユース容器使用による資源循環実証事業</p> <p>株式会社Cirloop (サークループ)</p>  <p>リユース容器でオフィスビル向け弁当・ドリンク販売、シェアレストランで洗浄する実証事業の実施</p>	<p>地域密着型協働プラスチック資源循環促進事業 自治体とのペットボトルの資源循環の取組</p> <p>一般社団法人全国清涼飲料連合会</p>  <p>大田区内にペットボトル3分別用のリサイクルステーション等を設置した実証実験や啓発活動</p>	<p>たのしくハブラシリサイクル!</p> <p>ライオン株式会社</p>  <p>生活者が回収拠点で直接投入できる歯ブラシ前処理機の開発、板橋区主催イベントでの回収、回収物による再生実験の実施</p>	<p>使用済みストレッチフィルムのアップサイクルブランド・プロジェクト</p> <p>株式会社 TRIFE DESIGN</p>  <p>運送業や製造業等で使用したストレッチフィルムを回収、素材開発から販売に至るまで全ての工程を国内で行うアップサイクルブランド・プロジェクトの構築</p>	<p>ヴィーガンレザーバッグ等のプロモーション実施</p> <p>ヘリテッジ株式会社</p>  <p>廃棄予定のリングや環境負荷の低いサボテン等を利用した人工皮革(ヴィーガンレザー)の製品プロモーション企画・実施</p>
--	---	--	---	---